

県民の支えと祝賀に包まれた県庁舎新築

現在、映画やドラマのロケ地として親しまれている群馬県庁昭和庁舎は、県民の寄附が支えとなり建てられました。新築にあたっては前橋市をはじめ、県内各地から寄附が寄せられ、建設計画を大きく後押ししました。昭和3年4月9日の落成式は盛大に行われ、落成式翌日の10日から14日までの、新庁舎を一般開放して開催された県勢展には多くの人を訪れたそうです。

2 昭和庁舎建設の背景

大正15(1926)年

この文書は、昭和庁舎の新築理由と建設計画を群馬県庁地方課がまとめたものです。旧県庁舎は慶応3(1867)年築の旧前橋城の建物で、増改築を重ねても老朽化が進み、建替えが必要になっていました。

財源は県費と寄附金の積立で確保する計画でしたが、前橋市から30万円の寄附申出があり、一般県費・不要財産処分収入・特志者寄附金を合わせた新たな財源計画が立てられました。

群馬県行政文書『県庁舎建築関係書類』(A0181A0T 851)

縣廳舎建築ニ関スル概要

本縣廳舎ハ明治九年群馬縣廳ヲ前橋市ニ置カルニ際シ旧城趾ニ於ケル建物ヲ以テ一時之ニ充當シ爾來必要ニ應ジ姑息ノ増築又ハ修繕ヲ加ヘテ今日ニ及ヒタルモノニシテ其ノ構造ハ旧式ヲ極メ採光通風等執務上衛生上適當ナラス加フニ數次ノ増改築ニ依ルヲ以テ事務室ノ配置等不便不斯殊ニ近年其ノ腐朽荒廢愈々シキヲ加ヘ末リ矣ノ上ハ根本的大修繕ヲ加フルニ非サレハ使用ニ堪ヘサルノ状態ナリ然ルニ現縣廳舎ハ既ニ改築ノ時機到來セルニ不拘今日迄不得止延引セル次第ナレハ大修繕ノ爲ニ多額ノ費用ヲ投シテ僅カ數年ノ間ヲ糊塗スルヨリモ寧ろ速

群馬縣

カニ全部ノ新築ヲ實行スルノ必要ヲ痛感スルニ到レリ而シテ本件ハ近年一般縣民ノ要望スル所ナリト共ニ前記ノ状態ナルヲ以テ之ニ処スルノ計畫ヲ樹立スルノ必要ナルヲ認メ先年縣廳舎建築資金蓄積ノ方法ヲ定メ大正十四年度ヨリ毎年縣費金五万円以上及之ニ對スル寄附金ヲ蓄積スルコト、爲セリ本案ヲ縣會ニ提出スルヤ満場一致ヲ以テ可決シ更ニ速ニ建築ノ計畫ヲ立テラレシコトヲ要望セリ 然ルニ一面前橋市ニ於テハ縣廳所在地タル緣故上本建築ノ一日モ速カナラムコトヲ熱望シ大正十四年度ヨリ大正十六年度ニ至ル三年間毎年金拾万円、金拾万円ノ寄附ヲ爲スヘキ市會ノ議決ヲ經テ該寄附願ヲ提出シタルヲ以テ之ヲ縣會ニ向タルニ満場一致ヲ以テ賛成シ翌日建築速進ノ建議ヲ可決セリ